

2021年 9月3日

仙台市長 郡 和子 殿

## 新型コロナウイルスに関連した学生支援に関する要望書

私たち日本民主青年同盟宮城県委員会は2020年9月から2021年7月にかけて、県内で19回の学生向け食糧支援「食べプロ」に取り組んできました。利用者は500人超（9月3日時点）で、その中で「新型コロナウイルスに関する学生生活実態調査」アンケートを集めてきました。その結果、コロナ禍で苦しむ青年・学生の切実な実態が浮き彫りになりました。「アルバイト先が潰れて生活が苦しい」「オンライン授業で実習にも行けないのに学費がそのままなのは納得できない」「企業や病院の求人が減り、就活が大変」等、青年の苦しむ声が多数集まりました。

新型コロナウイルスの感染拡大から1年半が経とうとしています。この間仙台市をはじめ県内各地で青年、学生の話聞いてきましたが、感染拡大当初から状況が変わっておらず若い世代に支援が届いていない状況は深刻です。そもそも青年・学生向けの支援制度が少ないという現状があります。

青年・学生の支援を求める声に応じて頂きたく、アンケート結果をもとに作成した以下の項目について仙台市の対応を求めます。

### 要望事項

- 1、学生支援緊急給付金を再度行うよう文部科学省に要請してください。また、市独自の学生支援制度を創設してください
- 2、市独自の給付型奨学金制度の創設と、学費半額を政府に求めて、学生がお金の心配なく学べる環境をつくってください。また、学都フリーパスの宮城交通への適用拡大、水光熱費使用料金減免の再度実施、家賃補助制度の創設等の学生向けの福祉制度の充実を求めます
- 3、静岡県で行ったアルバイト（会計年度任用職員）の雇用創出事業のように、市として経済的に困窮した学生向けのアルバイト雇用制度を創出してください
- 4、宮城県として行っている「みやぎ正社員雇用緊急対策事業」のような雇用対策を市独自で行ってください。もしくは中小企業が新卒者を雇用しやすくなる奨励制度を創設してください
- 5、青年、学生へのワクチン接種とPCR検査の拡充で、コロナ禍でも安心して学べる環境をつくってください

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-12-25 6階

日本民主青年同盟宮城県委員会

委員長 菊地幹男

電話番号022-796-7741 FAX番号022-796-7742